

令和5年度 学校関係者実施報告書

学) 濱田学園 石原幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・四季折々の野菜を、種や苗から植えて育て、自分たちが全てに関わることで育てる心を養う。
- ・命あるもの全てを大切に育てる。
- ・失敗してもその物事に頑張る心、負けない心を育てる。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

本園の教育理念・教育方針のもと、その教育目標に沿った強化項目について自己点検・自己評価を実施することによって、教職員が客観的に自らを振り返り教育内容の改善に取り組んでいく。

3. 評価項目の計画及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1	保育のあり方	教育方針を理解し、指導計画作成や保育内容に活かすことができた。 食育年間計画は新型コロナウイルスが5類に分類されたことにより6月以降十分に遂行することができた。 保育や行事が少しずつ改善されてきた。 新たに未満児を受け入れ、目標をもって保育を実施していた。
2	教諭としての質の向上	園内研修を積極的に遂行し保育の質の向上を図り、日々の保育の中に反映できた。
3	保護者への対応	園の保育方針を伝え、連絡帳やおたより帳、口頭などで密に連絡を取り信頼関係を築いた

4. 幼稚園評価の具体的な目標

課題について、全教職員が認識し、自己点検・自己評価に取り組むことで自ら保育を振り返るばかりではなく、さまざまな課題を見出すことができた。今後もより良い教育・保育のために継続して実施していくことを共通理解した。

5. 今年度取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	農作物の知識向上	保育者が農作物に対しての知識をもっと向上させる。
2	教職員間の連携	学年に関係なく他学年の指導計画も把握し、園全体の意識を統一する。
3	地域との連携	より地域との連携を深めていく。

6. 学校関係者の評価

保育者の子供達一人ひとりに対する細かな保育が見られ、子供を一番と考えた園作りがされているが、子供たちがこども園にしたことで増えこれから、昨年度と同様に子供たちへ手厚い保育が続けられるかを見守る。

地域の方に協力をしてもらいながら、農作物を作り、育てることで命の大切さを子供たちが認識し、自分達で収穫することによって、嫌いなものでも食べようとする努力が見られた。

今後も、今の保育を継続し、さらにより良い保育を目指して欲しい。

また、新型コロナウイルスが5類に分類され収束に向かう中、従来の子供たちを育てるのか、形をかえて行うのか園全体で試行錯誤し乗り切ってほしい。

7. 財務

公認会計士により適正であると認められている。

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

実施日 令和6年4月27日